



第4回常任理事会

日時 令和5年5月15日(月) 18:00～18:33
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、佐古・鈴木両副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問
 (Web参加者) 藤原副会長
 (事務局: 本田事務局長ほか17名)

協議事項

第1号 社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦に関する件(伊藤常任理事)

郡市医師会・医会等に推薦依頼していた医科診療担当者代表委員の推薦を決定。

第2号 北海道高齢者保健福祉施策検討協議会の構成員の推薦に関する件(目黒常任理事)

藤原副会長を推薦することと決定。

第3号 令和4年度決算に関する件(山科常任理事)

令和4年度会計に関する決算財務諸表・内部管理資料等の説明と、併せて監事より内部・外部監査報告を受けたのち、提案どおり承認することと決定。

第4号 令和5年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件(山科常任理事)

当会役員のうち、収益事業に係る役員13名の給与・期末手当を、当会の税務上の損金と認めてもらうため、「事前確定届出給与に関する届出書」を税務署に提出することと決定。

第5号 第2回理事会[5月20日(土)]の議案に関する件(目黒常任理事)

議案等について決定。

報告事項

1. 監査報告(内部: 梶監事、外部: 藤瀬監事)

協議事項第3号と併せて報告。

2. その他

(1) 会員数について(目黒常任理事)

令和5年3月31日現在の当会会員数は8,017名で、内訳はA会員2,346名、B1会員619名、

B2会員4,510名、C1会員86名、C2会員126名、C3会員330名となった。なお、日医会員数は5,614名となっている。

第2回理事会

日時 令和5年5月20日(土) 16:00～17:00
場所 札幌パークホテル・1階テラスルーム
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・寺本各常任理事、今・島田・鈴木・沖・小西・吉田・稲葉・柴田各理事、長瀬・中川両顧問、藤瀬・梶・阿久津各監事、深澤参与、井門副議長
 (事務局: 本田事務局長ほか17名)

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 監査報告(内部: 梶監事、外部: 阿久津監事)
 協議事項第1号と併せて報告。

(2) 日医理事会報告(松家会長)

4月の理事会では、IPPNW(核戦争防止国際医師会議)日本支部への支援金支出の件、第74回厚生科学審議会感染症部会の件等の報告、第154回日本医師会定例代議員会開催の件等について協議した。5月の理事会では、日本医師会常任理事の選任・選定に関する公示の件、第98回社会保障審議会医療部会の件、第18回厚生科学審議会感染症部会新型インフルエンザ対策に関する小委員会、第7回ワクチン作業班会議(合同開催)の件等の報告、第32回日本医学会総会開催助成費の件、医療機関勤務環境評価センター 医療機関の評価に関する審議の件等について協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

(3) 日医各委員会報告

1) 医療安全対策委員会[4月14日(金)・Web併用]について(青木常任理事)

静岡県医師会・紀平幸一会長が委員長に、福岡県医師会・上野道雄参与が副委員長に指名され、今後の審議の進め方について説明後、会長諮問「医療事故調査制度における院内調査のさらなる充実に向けて」に関する意見交換が行われた。

2) 病院委員会[4月20日(木)]について

(佐古副会長)

2名の委員より、プライマリ・ケアおよび高齢者の救急医療に関して説明後、会長諮問「第8次医療計画で求められる医師会の役割」に関して、主に外来機能報告を中心にフリー

トーキングを行った。

3) 産業保健委員会 [4月20日(木)] について (生駒常任理事)

厚生労働省「産業保健のあり方に関する検討会」での議論について意見交換を行った後、日医より、認定産業医研修の質の向上について、小委員会において検討された事項等の報告があった。また、厚生労働省の労働政策審議会に参画している委員より、第14次労働災害防止計画について説明があった。

4) 財務委員会 [4月27日(木)] について (藤原副会長)

第154回日医定例代議員会に提案される令和4年度決算について、貸借対照表等に基づき報告された。一般会計の事業活動については、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響により、会議の見送りなど経費の執行が抑えられ、財政的に黒字になったことが報告された。

5) 男女共同参画委員会 [5月18日(木)] について (寺本常任理事)

日医女性医師バンク事業の実情調査として実施する「50代医師の将来のキャリアプラン調査」の調査項目の素案についてと、会長諮問「超高齢社会における男女共同参画の推進」に関するフリートーキングを行った。

4. 承認事項

(1) 社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦について (伊藤常任理事)

郡市医師会・医会等に推薦依頼していた医科診療担当者代表委員50名の推薦を承認。

(2) 外部各委員会等委員の推薦について (目黒常任理事)

高齢者支援局高齢者保健福祉課の北海道高齢者保健福祉施策検討協議会構成員に藤原副会長を推薦したことについて承認。

5. 協議事項

第1号 令和4年度決算に関する件(山科常任理事)

令和4年度会計に関する決算財務諸表・内部管理資料等の説明と、併せて監事より内部・外部監査報告を受けたのち、提案どおり承認することと決定。

第2号 令和5年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件 (山科常任理事)

当会役員のうち、収益事業に係る役員13名の給与・期末手当を、当会の税務上の損金と認めてもらうため、「事前確定届出給与に関する届出書」を税務署に提出することと決定。

第3号 第164回定時代議員会ならびに第165回臨時代議員会 [6月17日(土)・18日(日)] の開催に関する件 (目黒常任理事)

6月17日(土)第164回定時代議員会、18日(日)の第165回臨時代議員会を札幌グランドホテルにお

いて開催すること、また、その提出議題を決定。

第4号 理事提案事項

特になし。

第5号 その他

特になし。

6. 道総医協関連事項 (鈴木副会長)

令和5年度第1回理事会(令和5年4月15日)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉 会

第5回常任理事会

日 時 令和5年5月23日(火) 18:00～18:31
場 所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古両副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問
(Web参加者) 鈴木副会長
(事務局: 本田事務局長ほか14名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (目黒常任理事)

5月17日の審査委員会で指定可とされた、新規申請者1名、再審申請者3名ならびに名称変更による申請者1名を指定医師とすることと決定。

第2号 北海道警察とのサイバーセキュリティ対策に関する覚書の締結に関する件 (橋本常任理事)

北海道警察からの依頼による覚書締結について、日医と警察庁との覚書締結に倣った案のとおりで締結することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件 (高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座11件を承認することと決定。

第4号 第1回郡市医師会会長協議会[5月27日(土)]の議題に関する件 (目黒常任理事)

議題について了承。

第5号 その他

(1) 6月行事予定に関する件 (事務局)

報告事項

1. 令和5年度北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション [5月14日(日)] について

(生駒常任理事)

合同プレゼンテーション参加機関は57機関(医歯大学3、臨床研修病院51、学会1、札幌矯正管区、道地域保健課)であった。従来、一堂に会して開催していた臨床研修制度とマッチング協議会説明を、今年はブースを設け複数回に分けた説明会とした。来場者総数は医学生・研修医を合わせて206名であつ

た。

2. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道総合開発委員会[5月10日(水)] について(松家会長)

委員長に寶金清博委員(北海道大学総長)、副委員長に串田雅樹委員(北海道農業協同組合中央会副会長理事)を選出後、事務局より北海道総合計画の進捗状況等の説明があり、各委員から専門分野における対応等について報告があった。小職からは医療現場の現状等を説明した。

(2) 北海道肝炎対策協議会[5月16日(火)] について(藤原副会長)

ウイルス性肝炎対策の重点推進および北海道ウイルス性肝炎対策実施要綱の改正について報告後、北海道肝炎医療コーディネーターの養成及び活用に関する要綱の改正について協議した。

(3) 第1回北海道がん対策推進委員会[5月17日(水)・Web会議] について(松家会長)

事務局より、北海道がん対策推進計画の進捗状況ならびに次期北海道がん対策推進計画の策定に向けたスケジュールなどについて説明があり、各委員から、がん対策の現状等について多

数の意見・要望が寄せられた。今後は、国の第4期がん対策推進基本計画を受けて、各専門部会(患者支援部会、がん検診部会、がん登録部会)を設置し、管轄領域分野の検討を進めるとともに、道総医協地域保健専門委員会においても協議を行うこととした。

道総医協関連事項(鈴木副会長)

1. 第2回地域医療専門委員会[5月18日(木)] について(佐古副会長)

次期北海道医療計画と北海道外来医療計画の策定スケジュールについて協議した。また、策定年度が異なるため別冊としていた外来医療計画と医師確保計画を次期計画から同一冊子とすること、次期北海道医療計画で定める二次医療圏の区域設定は見直しを行わない方針としたことから、対象区域を同じ21区域とすることとした。

2. 第1回地域保健専門委員会循環器疾患対策小委員会[5月19日(金)] について(水谷常任理事)

令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の公募・選定結果について報告後、第2期北海道循環器病対策推進計画骨子(案)および第8次北海道医療計画の考え方の方向性等について協議した。

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。ぜひともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1. 原稿の締切

毎月5日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

2. 原稿の体裁と字数制限

- (1) 原則として横書きといたします。
- (2) 引用文以外は、すべて常用漢字、現代かなづかいを使用してください。
- (3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
- (4) 1回の掲載紙面は、原則として「学術投稿」は2頁、「会員のひろば」は1頁を限度とします。

医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。

- (5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

3. 原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

- (1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
- (2) 匿名の投稿
- (3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの(二重投稿)
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
- (4) その他掲載に支障がある内容

4. ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090
E-mail：ihou@m.douji.jp